

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
分担研究報告書

地域診断および保健活動評価モデルとツールの開発に関する研究

研究分担者	大森 純子	東北大学大学院医学系研究科	教授
	永田 智子	慶應義塾大学看護医療学部	教授
研究協力者	嶋津 多恵子	国立看護大学校	教授
	小林 真朝	聖路加国際大学大学院看護学研究科	准教授
	三森 寧子	聖路加国際大学大学院看護学研究科	准教授
	米倉 佑貴	聖路加国際大学大学院看護学研究科	助教
	永井 智子	聖路加国際大学大学院看護学研究科	助教
	江川 優子	聖路加国際大学大学院看護学研究科	助教
	川崎 千恵	国立保健医療科学院	主任研究官
	小西 美香子	横浜市総務局	課長
	佐川 きよみ	葛飾区健康部	係長
	須藤 裕子	小鹿野町保健福祉センター	主査

研究要旨：本分担研究は、「地域における保健師の保健活動に関する指針」の実用化を進めるために、「地域特性に応じた保健活動推進ガイドライン」の実践的方法論の開発と保健活動の実践で活用できるツールの作成を目的としている。①気づきから行う地域診断方法の標準化モデルと焦点化地域診断ツールの作成、②保健活動の評価指標と方法の整理は昨年度で終了しているため、本年度は地区活動を推進するためのツール「地域/地区カルテ（案）」の試行と評価のための介入調査を実施し効果の評価を行い、作成したツール活用と普及のための「教育研修プログラム」と併せて活用方法を明確化した。

A. 研究目的

本研究は、「地域における保健師の保健活動に関する指針」を実用化するための「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」のために、地域特性に応じた保健活動の実践的方法論の開発と評価に関する研究として、地域診断および保健活動評価方法とツールの開発および評価、地区活動推進のためのツールの作成および評価を行うことを目的とした。

B. 研究方法

1. 保健活動ツールの試行と評価

昨年度作成した保健活動ツール「地域/地区カ

ルテ（案）」を自治体保健師に試用してもらい、ツールの評価・修正を行うことを目的とし、介入群・対照群を設けた介入研究を実施した。研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：17-A106）。

2. ガイドライン推進のための普及

ガイドラインを推進するための普及方法として、「教育研修プログラム」の作成および活用方法の明確化を行った。

C. 研究結果

1. 保健活動ツールの試行と評価

昨年度開発した、保健師が地域特性に応じた保

健活動の実践で活用できるツール「地域/地区カルテ（案）」は、以下の内容で構成されている。

①フェイスシート：担当地区の概要を大掴みに理解するためのシートである。地区の成り立ち、自然環境と位置、住民の構成、健康状態と暮らし、文化と社会関係、主要人物・組織資源、主要健康関連資源など8項目からなる。

②日々の記録：地区活動の中での気づきを積み重ねるためのシートである。

③サマリーシート：地区の課題、強み、弱みを整理し、地区活動の実施・評価の計画を立てるためのシートである。

この「地域/地区カルテ（案）」を自治体保健師に6か月間試用してもらい、評価を行った。調査協力が得られたのは11の自治体の保健師105名であった。資料1に研究プロセスを示す。協力が得られた保健師を介入群と対照群に分け、介入群にはツール（地域/地区カルテ）を6か月間試行してもらった。両群に試行前（ベースライン）と試行終了時点（6か月目）に質問紙にてアウトカム評価（地区活動の推進、組織への波及効果等）を行った。介入群には、試行後3か月と6か月目にツールの内容と使用方法の適切性に関するプロセス評価（質問紙調査およびグループインタビューまたは電話ヒアリング）を行った。

試行前と試行後を分析したところ、すべてのアウトカムで介入群・対照群間で変化量に有意な差は見られなかったが、群内でベースラインから6ヶ月後の変化をみたところ、対照群では有意に変化した指標はなく、介入群では「地域・住民との一体感」、「保健師としての自信」で有意な向上がみられた。

また、地域/地区カルテ自体の評価（プロセス評価）については、試用6か月後の質問紙調査において、カルテの構成については51.2%が分かりやすいと回答し、日頃の保健活動に役立つかとの問いには、70.7%がフェイスシートが役立つと回

答した。さらに、3つのシートの項目について分かりやすさ・重要度・書きやすさを尋ねた。

フェイスシートでは、項目のわかりやすさは「その他」という記入項目を除いて、70~90%が分かりやすい・普通と回答した。重要度は「住民の構成」「主要な人的・組織資源」「主要な健康関連資源」「地理的特徴」「健康状態と暮らし」の順に高く、重要であるとの回答が60%を超えた。「地区の目標・理念」は56.1%、「成り立ち」「文化と社会関係」は39.0%であった。書きやすさについては、書きにくいという回答が多かったのは「地区の目標・理念（36.6%）」および「文化と社会関係（34.1%）」「成り立ち（29.3%）」であった。

日々の記録の項目については、85.4%が分かりやすい・普通と回答した。重要度については51.2%がそう思うと答えた。

サマリーシートの項目については、68~95%が分かりやすい・普通と回答した。重要度は「要約（アセスメント）」「課題」「自治体の理念・将来像」「今年度の計画」「短期目標」の順に高く、重要であるとの回答が60%を超えていた。「地区の目標・理念」「次年度の健康課題」は58.5%、「評価（実施したこと）」は51.2%、「地区の人々が活用する健康関連資源や環境」「課題の位置づけ」「評価（改善したこと）」は48.8%であった。書きにくいという回答が多かったのは「地区の目標・理念（39.9%）」「課題の位置づけ（36.6%）」「自治体の理念・将来像（31.7%）」であった。

グループインタビューならびに電話ヒアリング、質問紙の自由記載の分析では、業務として地域づくりが認識されていないことや、業務多忙のため地区活動やカルテづくりに手がつかないこと、他の保健師や部署と共有する機会がないと活用されない、地区に出るハードルが高い、といった課題が語られた一方で、地域/地区カルテの作成を通じて、地区をみる視点が学べた、これまでなんとなく感じていたことに根拠が得られた、こ

れが保健師の活動の本質である、地区というものを意識できた、地区の課題を共有するためのツールになることなどが語られた。

これらの結果を踏まえて、地域/地区カルテを日頃の保健活動の中でどう活用したらよいかを検討し、その目的を整理し明確化を行った。

2. ガイドライン推進のための普及

ガイドライン推進のための教育研修プログラムとして、地域/地区カルテの活用の目的や各シートの目的および作成方法の理解のため、地域/地区カルテ活用マニュアルを作成し、それを用いた30分間の研修プログラムを構成した。また、より多くの保健師が誰でも簡単に活用できるように、E-learning教材(所要時間21分)を作成した。教材は地域/地区カルテ活用マニュアル、3種類のシートそれぞれに対応する3ステップで構成される。ツール活用の目的を達成するための記載方法や情報整理のための視点が示されている。

地域/地区カルテならびに地域/地区カルテ活用マニュアルについては、ガイドラインに資料を含めており、参照することができるようにしている。

D. 考察

本年度は、地区活動推進のためのツール(地域/地区カルテ)の試行と評価、ガイドライン推進のための教育研修プログラムの作成を行った。最終年度までに当初の研究計画を遂行することができた。

ツール試行の介入研究の結果において、介入群と対照群の群間で差が出なかった理由については、アウトカムとして、地区カルテを使うことで直接変化するようなものが設定されておらず、通常の保健師活動によっても変化(向上)しうるものになっていることが理由として考えられる。群内での試行前後の変化として、介入群の「地域・住民との一体感」、「保健師としての自信」で有意

な向上がみられたが、介入群では経験年数が短い者が多く、新人研修として実施したところもあることから地区カルテによる直接的変化のみとは考えにくく、自然な変化が検出された可能性も考えられる。また、今回の対象者の経験年数が平均10年以上で比較的長く、独自の地区活動のスタイルが身につけている人が多かった可能性も考えられる。

地域/地区カルテ自体のフェイスシート・日々の記録・サマリーシートの各構成内容については、分かりやすさや重要性が評価できた。分かりにくいとの意見は最も高い項目でも20%台であり、ほとんどの項目について50%以上の保健師が重要であると評価した。

またツールのプロセス評価を通じて、保健師自身の地域/地区活動の捉え方についての課題が浮かび上がり、ガイドラインを普及することの必要性が示された。

今後はガイドラインを広く普及し、地域特性に応じた保健活動の推進を進めていくことが求められる。

E. 結論

本年度は「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」の実践的方法論の開発として、地区活動推進のためのツール「地域/地区カルテ(案)」の試行と評価を行い、ガイドライン推進のための普及方法として教育研修プログラムを作成した。

F. 健康危機情報

総括研究報告書による

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

<資料1>

